

ICT利活用教育の推進に向けて 佐賀県の取組状況



佐賀県教育委員会

1 ICT利活用教育推進の背景と効果

1

<現状(事業推進の背景)>

- 高度情報化社会への対応
(情報機器の整備・普及に伴い、教育の情報化は必至)
- 学力向上の取組強化
PISA調査等において情報教育先進国(韓国、シンガポール等)との格差が拡大
- 通常の学校や教室外でも質の高い教育の確保を求める要望が拡大
 - ・新型インフルエンザ発生時の対応
 - ・地震や風水害などの自然災害発生時の対応
 - ・不登校や特別支援教育対象者への対応

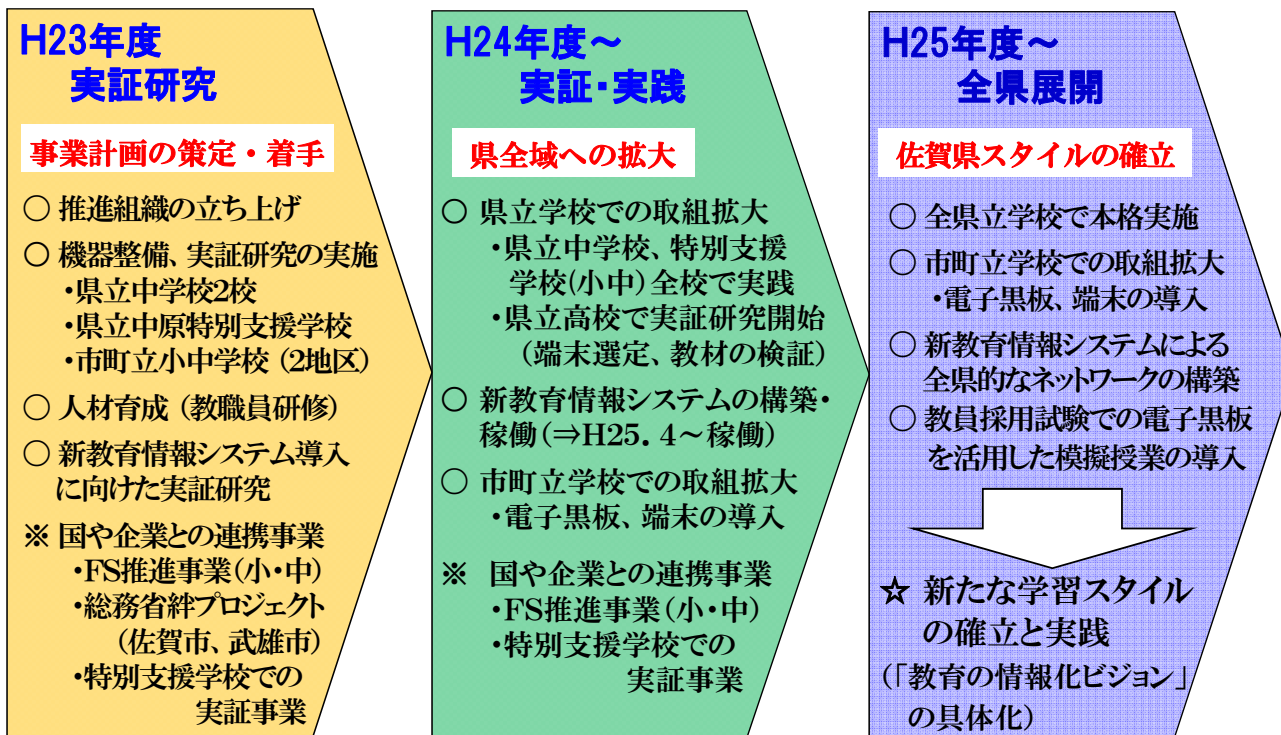
<期待される効果>

教育の質の向上、児童生徒の学力向上

- ① 学びの質の向上 (⇒子どもが変わる)
- ② 教師の指導の質の向上 (⇒授業が変わる)
- ③ 学校運営の改善、事務負担の軽減 (⇒学校が変わる)
- ④ いつでもどこでも良質な学習機会の提供



ICT機器の整備と新教育情報システム(SEI-Net)の構築・運用、並びに人材育成等を一体的に推進




Copyright Saga Prefecture.All Rights Reserved.

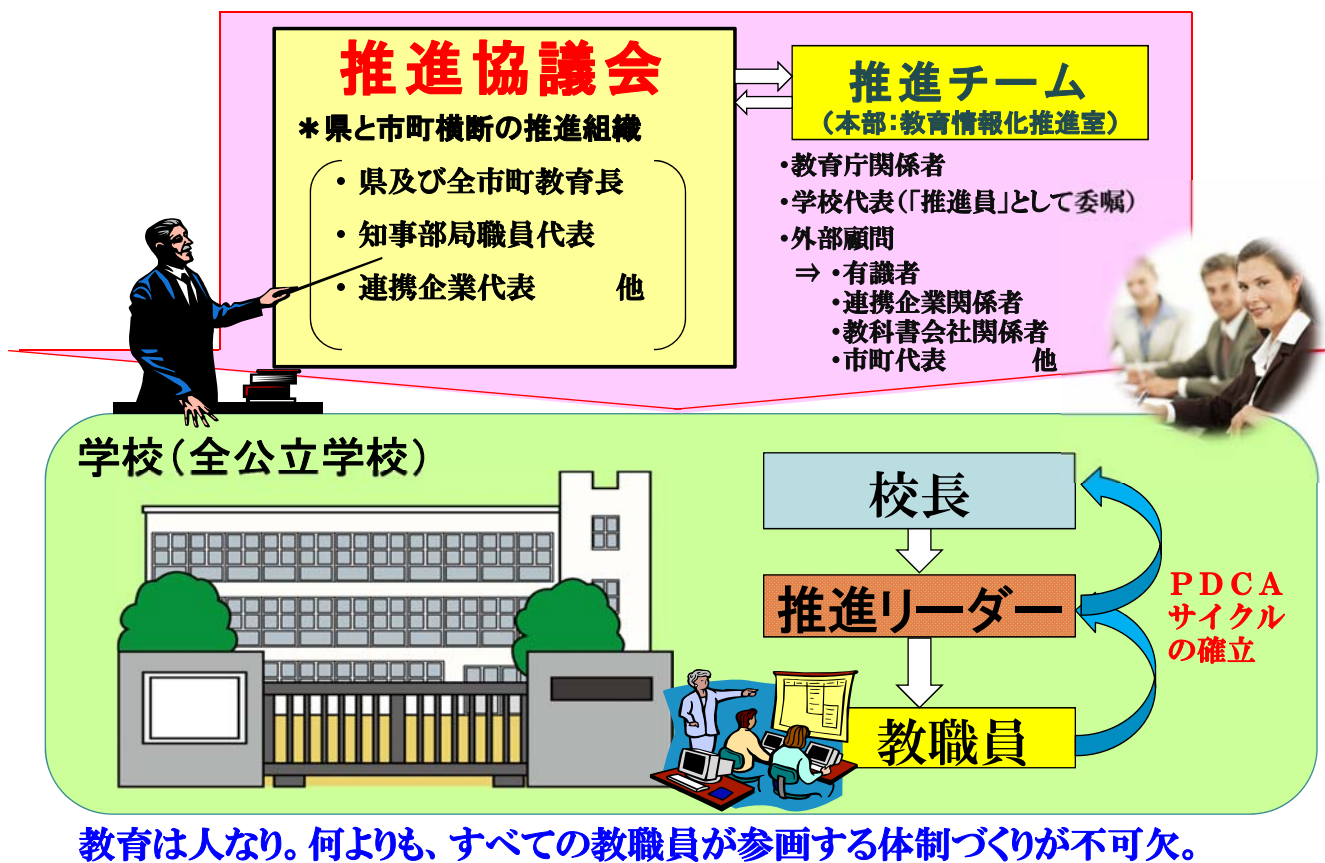
(1) 明確な事業計画と工程表の提示

⇒佐賀県総合計画2011に示す事業スケジュール

＜抜粋＞総合計画2011の工程表「8. 人材育成 ④先進的なICT利活用教育の推進」

具体的取組	H23	H24	H25	H26
①事業推進体制の構築 (ICT利活用教育推進チーム等)	推進体制の整備・支援 (H23.6～)	支援 (H23.6～)		
②人材育成 (教職員研修、普及・啓発)	教職員研修、推進リーダー研修 第Ⅰ期 活用ガイドブックの作成・配付 (H23.6～H24.3)	第Ⅱ期 (実践力養成)	第Ⅲ期	
③実証研究 システム・機器整備	基幹システム設計・構築 (H23.6～H25.3) 実証研究 (機器整備、他) (H23.6～24.3)	県立学校における機器等の整備 (H24.4～) 実証研究 (課題抽出・分析、改善検討) (H24.4～H27.3)	基幹システム運用 (H25～)	
④市町等との協議・連携	市町教育委員会との協議、国・大学等外部機関との連携 (H23.4～H27.3)			
※国の取組 「教育の情報化ビジョン」 (H23.4)	総務省 フューチャースクール推進事業 (ICT利活用教育を進める上での技術面を中心とした課題抽出) 文部科学省 学びのイノベーション事業 (学習者用端末及びデジタル教科書を用いた指導法の研究)			

(2) 事業推進体制の明確化



(3) 教職員全員研修の充実(人材育成)

【目的】県内全ての学校でICT利活用教育を促進
～情報化推進リーダーを中心とした日常的な教職員研修の実施～

【内容】

- 機器活用に関する研修
 - ・ 電子黒板
 - ・ 学習者用端末
 - ・ 校務用PC
 - ・ 校内LAN、無線LAN
- デジタル教材の活用に関する研修
- 具体的な指導計画の作成と実践に関する研修
- 教育工学面からの理解、活用に関する研修 等



全教職員対象にスキルアップ研修を実施中

(4) 電子黒板、学習者用端末の整備



○ 電子黒板の導入で可能となること

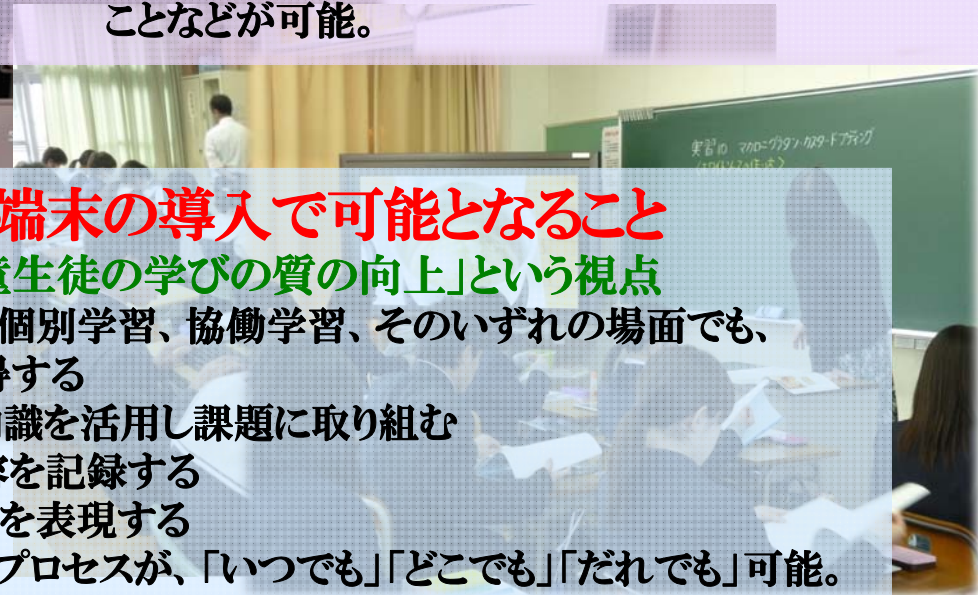
⇒「教師の指導力の向上」という視点

- ・児童生徒の興味・関心を高める
- ・思考や理解を深める
- ・教授内容・課題を的確に伝えることなどが可能。

○ 学習者用端末の導入で可能となること

⇒特に、「児童生徒の学びの質の向上」という視点

- 一斉学習、個別学習、協働学習、そのいずれの場面でも、
- ・知識を習得する
- ・習得した知識を活用し課題に取り組む
- ・学んだ内容を記録する
- ・自らの考えを表現する
- 一連の学習プロセスが、「いつでも」「どこでも」「だれでも」可能。



【参考】具体的な機器整備等の計画

具体的取組		H23	H24	H25	H26
ICT機器の整備 (電子黒板 学習者用 端末等)	県立中学校 (併設型中高 一貫教育校) <全4校>	実証研究(2校) ・電子黒板:全教室 ・情報端末:全生徒	—		—
	—	—	全校で実施 ・電子黒板:全教室 ・情報端末:全生徒		—
	県立高校 <全36校>	—	実証研究(5校) ・電子黒板:全教室 ・情報端末:新入生	* 実証研究を継続	—
	—	—	* 研修用電子黒板 の整備(特別教室)	全校で部分実施 ・電子黒板:全教室	全校で実施 ・情報端末:新入生
特別支援学校 <全8校>	実証研究(3校) ・情報端末:一部生徒	—	—	—	—
—	—	全校(小中)で実施 ・電子黒板:全教室 ・情報端末:全生徒	—	全校(高)で実施 ・電子黒板:全教室 ・情報端末:新入生	—
新教育情報システムの 設計・構築	試作版での検証	設計・構築		運用(校務管理から順次開始)	
人材育成 (教職員研修)	教職員研修・推進リーダー研修 第1期:内容理解		第2期:実践力養成		第3期:改善充実
—	活用ガイドブック の作成・配付	指導方法の改善、活用ガイドブックの充実			

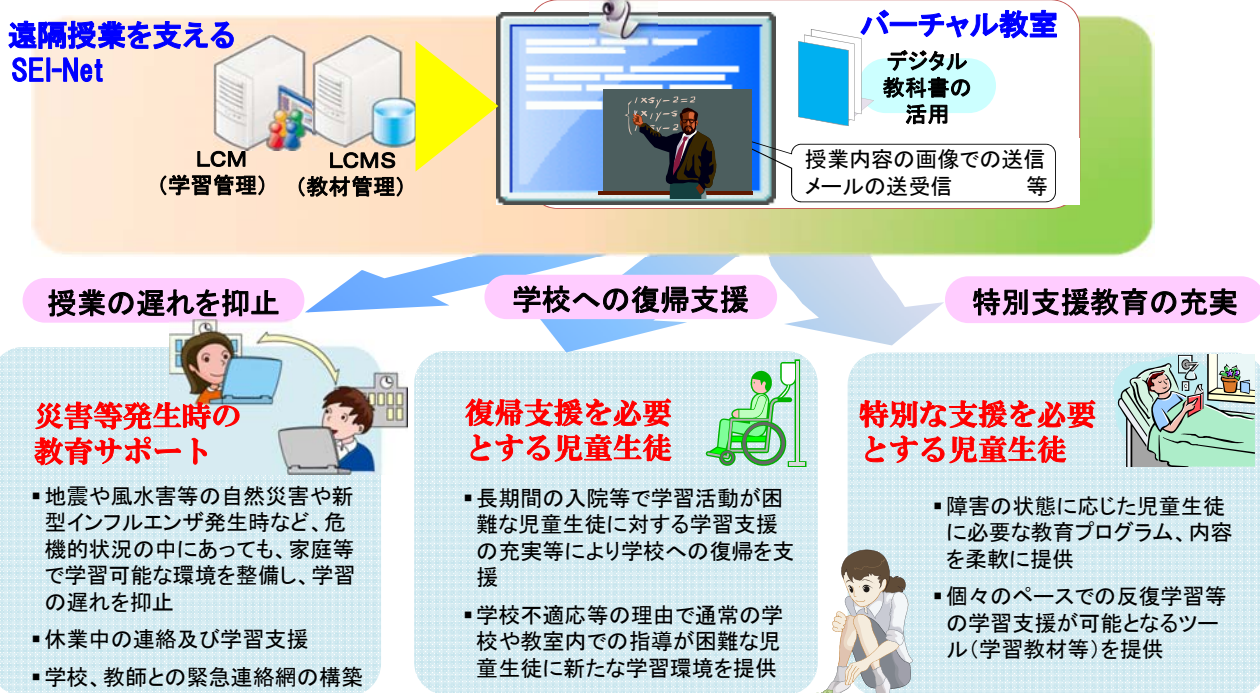
(5)新教育情報システム(呼名:SEI-Net)の導入

⇒ 平成25年4月から稼働(順次、機能拡張と対象地区の拡大)



[SEI-Net導入で可能となる遠隔授業]

ICTを利活用した遠隔授業等を通じて、「災害発生時等の教育サポート」や「特別な支援を必要とする児童生徒に対する教育の充実」など、「いつでも」「どこでも」「誰でも」良質な教育を受けることが可能となる。



[実証研究から全県展開に向けて]

佐賀県

シンポジウムに続く!!

